

大阪・関西万博 セルビア館 × 

大阪・関西万博セルビア館で「除虫菊の日」イベント開催

旧ユーゴスラビア(現セルビア共和国)原産の「除虫菊」が人々の「いのち」を守った経緯をたどる

KINCHO(社名:大日本除虫菊株式会社、本社:大阪市西区、代表取締役社長:上山直英)は、2025年7月30日、31日、8月1日の3日間、大阪・関西万博セルビア館と「除虫菊の日」イベントを開催します。

本イベントは、旧ユーゴスラビア(現セルビア共和国)原産であり、天然の殺虫成分を含む「除虫菊」が、日本で KINCHO 創業者の上山英一郎により「蚊取り線香」となり、さらに発展して人々の「いのち」を守ってきた経緯を展示します。

<「除虫菊の日」開催概要>

イベント名:「除虫菊の日」

会場: 大阪・関西万博 セルビア館 1 階 カンファレンスルーム
(セルビア館レストラン 階段をはさんで左側の部屋)

開催日:2025 年 7 月 30 日(水)~8 月 1 日(金) (3 日間)

時間: 各日 10:00~17:00

内容: 除虫菊を紹介するパネル等の展示

「天然除虫菊 金鳥の渦巻 ミニサイズ」(写真右上)と、
オリジナル絵葉書を各日 1,200 名様に配布します。



<「除虫菊の日」開催の経緯>

天然の殺虫成分を含む「除虫菊」は、旧ユーゴスラビア(現セルビア共和国)が原産地です。1886 年(明治 19 年)、除虫菊の種を入手した KINCHO 創業者上山英一郎は、日本国内に栽培を広め、戦前には日本が世界一の除虫菊輸出国となるまでに発展させました。また、1890 年(明治 23 年)には世界初の「蚊取り線香」を発明するなど、除虫菊の製品を通じて人々を害虫から守ることに貢献しました。

上山英一郎は 1929 年(昭和 4 年)、除虫菊の通商関係に多大な功績をあげたことから、当時のユーゴスラビア国王より、大阪駐在ユーゴスラビア王国名誉領事の称号を贈られました。現在は、KINCHO 社長の上山直英が「セルビア共和国名誉総領事」として両国の友好親善に努めています。

和歌山で創業し、大阪に本拠地を構える KINCHO は、除虫菊から発展した合成ピレスロイドを用いて、「シンカトリ」「虫コナーズ」など多くの製品を生み出してきました。3日間開催する「除虫菊の日」イベントでは、害虫や、害虫が媒介する病気から人々の「いのち」を守ってきた除虫菊とピレスロイド、また除虫菊が見つないだセルビア共和国と日本との関係を紹介します。